岩盤ボーリング柱状図

調　　査　　名　一級河川　江の川水系　寺川　測量設計地質調査業務（通常砂防・公共）

事　業　・　工　事　名

調査目的及び調査対象　砂防　砂防

ボーリング名	Bor.No.3	調査位置	広島県庄原市高町大滑			北緯	34° 52’ 47.9511”
発注機関	広島県 北部建設事務所 庄原支所			調査期間	令和5年11月25日～ 令和5年11月30日	東経	133° 05’ 08.0550”
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	TP 416.63m	角度	180° 上 下 0° 90°	方向	北 0° 90° 東 180° 南 270° 西	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機	東邦地下工機D1-B
総削孔長	13.00m								エンジン	ヤンマー90C	ポンプ	TSW-12H

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名（模様）	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	コア採取率 —×— (%) 最大コア長 —●— cm RQD —— [%]	記事	孔内水位／測定月日
1												10[10](100)	コンクリート中に大小さまざまな石材を含む。	
2												35[67](100)	石材は主として花崗岩からなる。	
3												25[68](100)	コンクリートや石材は非常に硬質である。	
4												45[71](100)	GL-1.50m～1.70m間及びGL-2.30m～-2.60m間は花崗岩の玉石である。	
5												57[72](100)	GL-4.80m～-5.00m間は礫混じり砂状を呈する。	
6												12[32](100)	所々にコンクリート中で小さな空隙が認められる。	
7												51[89](100)	コアは硬質でハンマーで叩くと金属音を発する。	
8	408.13	8.50		コンクリート	灰							38[78](100)	短柱状コアとして採取される。	11/30 8.35
9												25[35](100)	石材は径2～60mm程度の亜角礫を主体とする。	
10												45[55](100)	玉石は硬質な花崗岩からなる。	
11												10[10](100)	岩片は非常に硬質である。	
12												15[36](100)	短柱状コアとして採取される。	
13	403.63	13.00		花崗岩	淡褐灰	w1	h1	B	Ⅱ	b	CM	20[39](100)	粗粒花崗岩である。	
14													所々で斜め亀裂が発達している。	
15													一部亀裂沿いに変質作用を受けている。	
16														
17														
18														

標準貫入試験

深度－N値図 (0 10 20 30 40 50 60)	N値	深度	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
50/1		9.00	貫入不能		
50/1		10.00	50	80	
		10.08	80		
50/1		11.00	貫入不能		
50/1		12.00	貫入不能		
50/1		13.00	貫入不能		

原位置試験	室内試験	削孔状況								
		削孔月日	削孔速度（cm／5）	孔径・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧 (MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	削水・送水量 (L／min)	排水量 (L／min)
	4.20 岩石 4.50	11/25	133		W/D	10.0	140	0.1	M2 5	0
			100							
			133							
								0.1	M2 5	0
			107	86／ケーシング		30.0	40	0.0	M1 0	0
		11/27	120			10.0	120			
			133			20.0	140			
			109		W/D	10.0	140	0.1	M2 5	0
			34							
		11/28	67			20.0	140			
			72		W/D	10.0	140	0.2	M2 5	4
			92	66		20.0	140	0.2	M2 5	0
		11/30	86			40.0	160	0.1	M2 5	0